

「こどもまんなか熊本・実現計画」中間整理に関する御意見・御提案への県の考え方について

No.	参加者のみなさまの御意見	県の考え方
1	入園や転園、病児の保育などの利便性向上について、自治体としてさらに取り組んでいただきたい。	希望する誰もが利用しやすい幼稚園・保育所・認定こども園の実現に向けて、制度設計や環境改善を進めます。また、病児保育の充実を図ります。
2	子育て等に関する経済的負担については、各企業が自助努力でやることが大事だが、やはり自治体からも一部補助してもらおうと企業が導入しやすい。	子ども医療費助成制度や幼児教育・保育の無償化など子育てに係る基幹的な経済的支援について、全国一律の制度化と支援基準の充実を図ることを国に求めるとともに、国の動向を踏まえつつ、今後も引き続き、子ども医療費の助成や多子世帯の子育て支援を行います。また、高等学校等の奨学給付金や育英資金制度を着実に実施するとともに、ニーズの変化に対応して必要な措置を検討します。
3	県で「こどもまんなか」アワードのようなものをつくって、素晴らしい企業・団体を表彰して、好事例を横展開するといった取組みがあると、より盛り上がっていくのではないかと。	結婚後・出産後・子育て中も安心して働きたいと思える職場環境づくりについて、実効性の高い取組みの横展開を図ります。 御意見を踏まえ、既に創設している「よかボスAWARDS」（「よかボス企業」が社員等に対して行う結婚、妊娠・出産、子育て支援の優れた取組みの顕彰）との整合も含めて検討して参ります。
4	県庁においてモデル先行されることについて、今後の横展開に期待している。	県庁での率先的な取組みの上で、知事自ら先頭に立ち、企業・団体との対話を重ね、安心して働ける職場環境づくりの実現を推進します。
5	若者が県外に流出せず、県内の魅力ある企業で働くためにも、価格転嫁を本当に進めていかないと、企業としても体力がもたない。	賃上げの動きを全ての働く人々が実感でき、将来への期待も含めて、持続的なものとなるよう、希望する非正規雇用労働者の正規化や働きに応じた公正な処遇を推進します。 その実現を下支えするためにも、御意見を踏まえ、県内企業の生産性向上や価格転嫁等の取組みを支援することとします。
6	若い女性が熊本を離れることに大きな問題意識を持って考えなければならない。	県内各地でこども・若者にとって魅力的な地域づくりを推進します。
7	教育が一番大事だと思っており、幼児教育、小学校教育、人間力や精神力や働く意欲や公共心といったものをきちんと子どもたちに教えていく必要がある。単純に学力をつけるというのではなく、20年後、30年後に対応するためにも、この人間力を高める教育をすることが地元で生まれた子どもたちに喜ばれる施策ではないかと。	変化の激しい時代の中、こどもが未来の社会を自立的に生き、社会に参画するための資質や能力を習得できる教育を推進する必要があります。 そのため、「自らの可能性を拓き、未来を切り拓く、熊本の人づくり」の理念のもと、質の高い教育を推進します。

「こどもまんなか熊本・実現計画」中間整理に関する御意見・御提案への県の考え方について

No.	参加者のみなさまの御意見	県の考え方
8	人手不足、物価高騰、賃金上昇などへの対策を強く講じていただき、中小企業・小規模事業者の振興を図っていく必要がある。	県庁での率先的な取組みの上で、知事自ら先頭に立ち、企業・団体との対話を重ね、安心して働ける職場環境づくりの実現を推進します。 その実現を下支えするためにも、御意見を踏まえ、中小企業・小規模事業者の支援を行っていくこととします。
9	「こどもまんなか熊本」を進めた場合の事業者の福利厚生費等のリスクの増加も踏まえて対応してほしい。	県庁での率先的な取組みの上で、知事自ら先頭に立ち、企業・団体との対話を重ね、安心して働ける職場環境づくりの実現を推進します。 その実現を下支えするためにも、御意見を踏まえ、中小企業・小規模事業者の支援を行っていくこととします。
10	小学生の下校時の見守りについて、元気な高齢者などに道路脇に立っていただくなど見守りの強化ができるといい。	御意見も踏まえ、こどもが犯罪や交通事故の被害に遭わないよう、通学路の見守りカメラの設置や、「警察こども見守り・訪問隊」の活動を推進するとともに、防犯ボランティア団体、地域のスクールガードによる登下校時の見守り活動の支援を検討します。
11	学校給食のメニューに地産地消の有機食材を採用して安心・安全な給食を提供してほしい。	地産地消による高品質な学校給食等を提供します。
12	人と人との繋がりや絆、自然が目前にある環境といった熊本のいい面もどんどん伸ばしていかなければならない。	人と人との繋がりを活かして「地域の縁がわ」などこどもが気軽に集える地域の居場所づくりを支援します。 また、年齢や発達程度に応じ、自然体験、職業体験、文化芸術体験など多様な体験・外遊びを含む様々な遊びができるよう、地域資源を生かした遊びや体験の機会や場を計画的に創出します。
13	「ブライト企業」や「よかボス企業」に参加できない企業があることを考えてほしい。	県庁での率先的な取組みの上で、知事自ら先頭に立ち、企業・団体との対話を重ね、安心して働ける職場環境づくりの実現を推進します。 その実現を下支えするためにも、御意見を踏まえ、中小企業・小規模事業者の支援を行っていくこととします。 併せて、組織のトップや管理職の意識を変え、仕事と子育てを両立できる職場環境づくりを進めていくほか、国と連携したワークルールの周知等により、長時間労働の是正や働き方改革を推進していきます。
14	企業・団体に対して不妊治療と仕事の両立をしやすい環境整備を働きかけますと書いてあるが、どうやってそれを働きかけていくのか具体性が見えない。企業としてどうすればいいのだろうか考えさせられた。	企業・団体に対して不妊治療と仕事の両立をしやすい環境の整備について、御意見を踏まえ、好事例や支援制度の周知を行いながら働きかけていくこととします。